

放射性物質に対する水稻の技術対策

平成23年6月20日
JA全農福島米穀部

みんなの力で「放射性セシウム」の吸収を防ぎましょう。

「放射性セシウム」の特性を理解し、国や県の発表される情報に基づき、栽培技術の対応をして頂くようお願い申し上げます。

放射性セシウムの規制値

- 玄米中の規制値(食品衛生法に基づく暫定規制値)
 - ・米(玄米) 500Bq/kg (Bq=ベクレル)
- 水田土壌中の規制値
 - ・水田土壌 5,000Bq/kg(乾土) (調査結果が超えた地域は稲の作付け制限があります)



放射性セシウムの吸収抑制

「栽培中の吸収抑制」対策を実施し、放射性セシウムの農作物への吸収を少なくしましょう！

- 栽培中の農作物による吸収抑制(参考:「がんばろう 福島！」農業技術情報第2号5月6日)
 - 問①放射性セシウムの吸収を抑える対策はありますか？
(答)放射性セシウムはカリウムと似た性質を持っているため、植物は両方を吸収しますが、土壌中のカリウムの割合が多ければ、吸収するセシウムの割合が減るとされています。
 - 問②水稻栽培において、少しでも放射性セシウムの吸収を減らしたいと考えています。どんな対策が考えられますか？
(答)カリウムが多いと放射性セシウムの吸収量が減少しますので、基肥や追肥でカリウムの施肥を行うとよいでしょう。

水稻のセシウム吸収軽減のおすすめカリ資材

～カリの中間追肥をしましょう！

- けい酸加里 (加里成分を20%含みます) ○ 塩化加里 (加里成分を60%含みます)
 - 施用量 10アール当たり20kg(1袋) 施用量 10アール当たり7kg
 - 施肥時期 出穂前45～35日前 施肥時期 出穂前30日前
- ～ カリ成分で4kgが施用の目安です ～

- カリの追肥は稲体を硬くします。倒伏軽減の効果も期待できます！

資材施用の支援～国の助成事業の活用(東日本大震災農業生産対策交付金)

- 放射性物質の吸収を抑制するための資材購入の支援 ～ カリ肥料等の費用
 - ・実施主体 農業者の組織する団体等が対象 ・対象地域 福島県全域
 - ・補助率 事業費の1/2以内
 - ・問い合わせ先 各農林事務所にお問い合わせ下さい。

「中干し」はしたほうが良いのでしょうか？

- 中干しや間断かん水を基本とする水管理を実施します。中干しは有効茎数確保したら実施。
中干しや間断かん水では土壌を酸化状態にする働きがあり、アンモニア態窒素との関係から、放射性セシウムの吸収量を減らすことができると考えられます。

倒伏をさせない稲作りをしましょう！

～穂には泥を付けないように！～

- 「放射性セシウム」は、土壌と結びつきやすいと言われています。
穂に泥を付けない稲刈り作業をするように、今から、倒伏させない基本技術の徹底を図りましょう！
 - ・カリの中間追肥は稲の稈を硬くします。けい酸加里は珪酸を含みカリとの相乗効果が期待！